

2015.12発行

街中がキラキラ♪イルミネーションが綺麗な季節になりました。早いもので今年も終わろうとしています。2015年、皆さんにとってどんな一年でしたか？黒田フィーバーで始まった今年のプロ野球。楽しみにしていたカーブも残念な結果に終わり、「う～ん」の一年になった私です。来年こそは！

2016年が皆さんにとって良い一年になりますように♪♪

11月 総会と定例会があり、宮原先生や参加者のお子さんを含めて10名の方が参加してくださいました。

- 1 総会（会計報告、活動報告）
- 2 参加者自己紹介（近況報告など）
- 3 宮原先生からの話題提供

「小学生から青年期までのからだ探検隊プログラムの紹介と今後に向けて」

（1）からだ探検隊

- ・1号（学童）、2号、3号

○プライベートゾーンの学習は年齢に関係なくどの年代でも行い、繰り返し教えることが大切。

（2）能開版からだ探検隊（青年期）

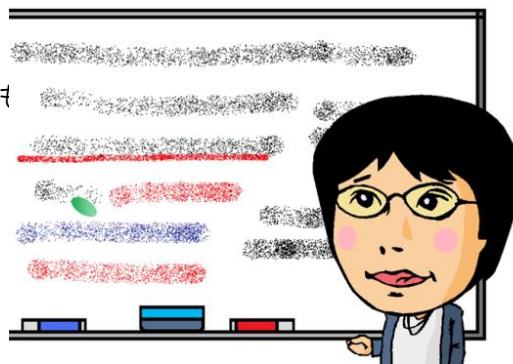
- ①すてきな大人って
- ②恋するキモチ
- ③すてきな大人のマナー
- ④大人が知っておきたいこと

○男女間の「性」に関する情報がある程度知識として持っている利用者さんに対し、プライベートゾーンなどの基本的なプログラムにプラスして恋愛に関する学習も行う。

大人として知っておくこととして恋愛の先にある結婚やセックス、妊娠、性感染症等も取り上げた。

○「大人のマナー」の学習の際、大学生と利用者さんでの「若者トーク」を男女別に行った。話し相手が同年代ということもあり、大人には話せない悩みなどを話せる場になった。間違った情報に対して「ダメ」というのではなく、やんわりと正しいことを教えた。

○みんなの場所かそうではないか、実際に使っている場所の写真を使用しての学習はとてもわかりやすく、有効だと思う。



今回も話題提供からはもちろん、雑談の中からもたくさんのヒントを頂いてきました♪

能開で行われた「若者トーク」では本音でいろいろな話ができていたという報告に、探検隊のような学びの場と同年代同士での話せる場がどこでもできるようになるといいのになぁ～と、離島に住んでいるとなかなか難しい現実を前にふと感じた私でした。

お話しの中にもあったのですが、全てのプログラムを行うことが難しい場合、「プライベートゾーン」と「距離の取り方」だけでも教えることができたらいいのかもしれない。

近況報告の中で20代の息子さんが療育を受けるようになってから落ち着いてきた。「教育はいつから受けてもいい。遅いということはないんだな～と感じている」と話されていたのを聞き、子どもたちのためにも性に関する学びの場が増えていくといいなぁ～と今回（毎回ですが）も感じて帰ってきました。できることを少しずつですな♪♪

<お知らせ>

次回の定例会は2月13日（土）です。昨年同様、長崎性教協との共同開催で一日セミナーの予定です。皆さんお誘いあわせの上、たくさんの方のご参加をお待ちしています♪

